

直線ポータブルミシン

Nouvelle ヌーベル

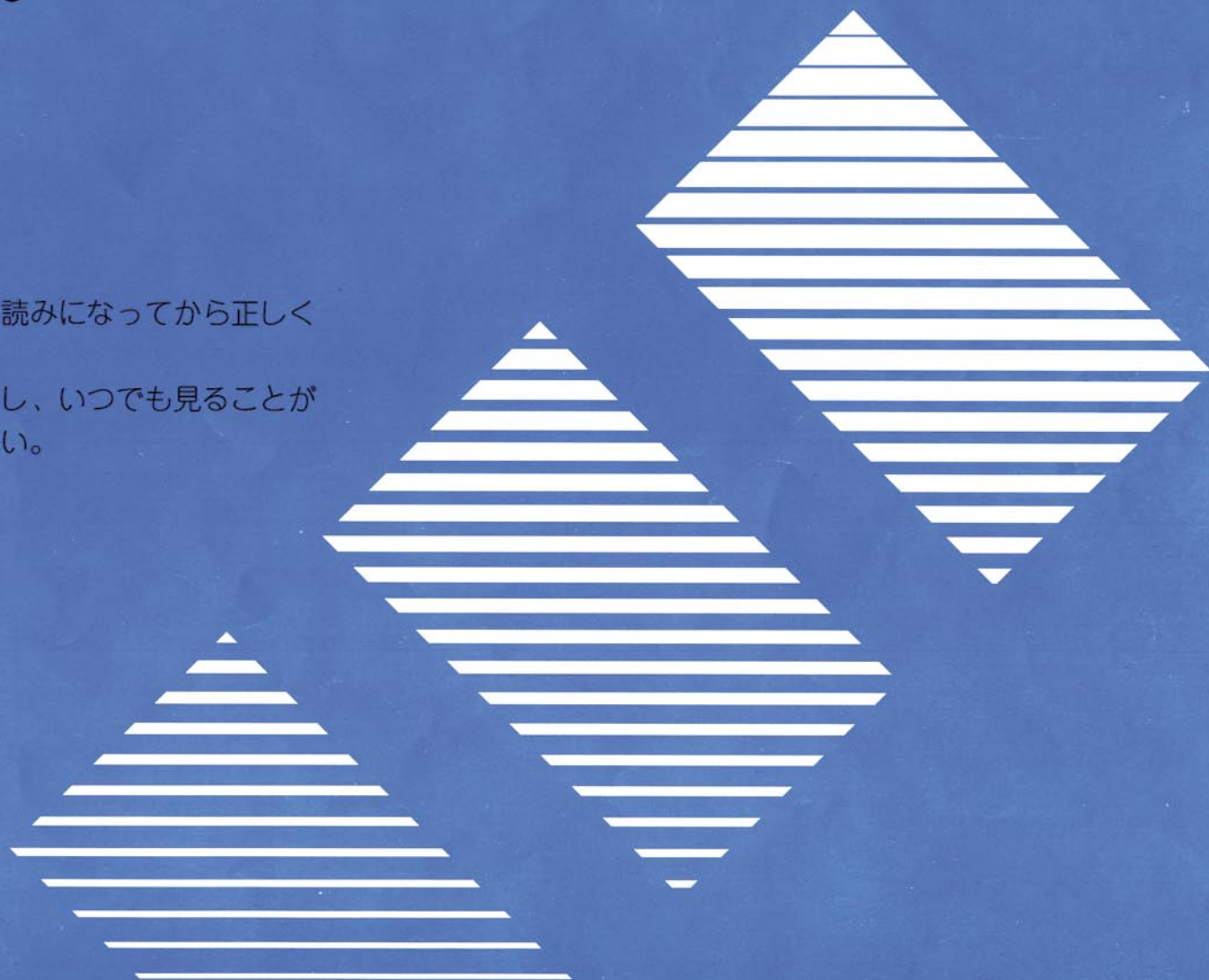
TA3-B624・629

brother

取扱説明書

取扱説明書は最後までお読みになってから正しく
お使いください。

取扱説明書は大切に保管し、いつでも見ることが
できるようにしてください。



安全にご使用いただくために

本書において、付加されている記号▲は、お客様の身体あるいは財産に関わる注意事項に対し、注意をうながすためのものですので、必ず守ってください。
重大な結果に結び付く可能性が大きいものを《警告》としていますので、特にご注意ください。
《注意》の事項も安全に関する重要なことからですので、必ず守ってください。

▲ 警 告

- 一般家庭用電源100Vでご使用ください。
 - 以下のようなときは電源を切り、電源プラグをぬいてください。
 - ・ ミシンのそばを離れるとき
 - ・ ミシンを使用した後
 - ・ 運転中に停電したとき
- ※ 過熱や火災の原因となります。

▲ 注 意

- お客様ご自身での分解、改造はしないでください。
- 電源コードの接続には、延長コードや分岐コンセントを使用しないでください。
- 電源プラグをコンセントから抜くときは、電源スイッチを切ってからプラグを持って抜いてください。コードを引っ張って抜かないでください。
- ミシンの換気用の穴をふさがないでください。
- ミシンの換気用の穴やコントローラーに糸くずやほこりがたまらないようにしてください。
- コントローラーの上にものをのせないでください。
- ミシンの内部に異物をいれたり、ドライバーなどを指し込まないでください。
- ミシンに水などをこぼさないでください。
- スプレー製品をご使用の部屋、または酸素を扱っている場所ではご使用にならないでください。
- 屋外またはストーブやアイロンのそばでは使用しないでください。ミシンの使用温度は0℃～40℃です。
- 以下の場合にはミシンのご使用をすみやかにおやめになり、お近くの販売店またはブラザーのサービスセンターにて修理または調整をお受けください。
 - ・ 電源コードまたは電源プラグが破損したとき
 - ・ 正常に作動しないとき
 - ・ 落下などにより破損したとき
 - ・ ミシンが濡れたとき
- ミシン操作中は、針から目を離さないようにし、針、プーリー天びんなどすべての動いている部品に手を近づけないでください。
- お子様の玩具としてご使用にならないでください。お子様がご使用になるときや、お子様の近くでご使用されるときは、安全に対して注意を払ってください。
- 針の周辺で以下のことをするときは、必ず電源を切ってください。
 - ・ 針に糸を通すとき
 - ・ 下糸をセットするとき
 - ・ 針を交換するとき
 - ・ 押えを交換するとき
- 取扱説明書に記載のある整備を行うときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ミシンには正規の部品をご使用ください。
- 曲がった針はご使用にならないでください。
- 縫製中に布を無理に引っ張ったり押したりしないでください。
- ミシンを移動するときは、取っ手を持って行ってください。
- ランプが切れたときの交換は、ガラス部分が熱くなるまで待ってから行ってください。

※ 火災・感電・傷害の原因となります。

このミシンは日本国内向けです。
FOR USE IN JAPAN ONLY.

目

次

付属品	1
各部の名称	2
ぬう前の知識	3
上糸調子ダイヤル	3
電源コード・コントローラー	3
電源スイッチ	3
プーリ	3
送り調節ダイヤル	3
返しぬいレバー	3
押え上げレバー	4
ひざ上げレバー	4
押え圧力つまみ	4
補助テーブル	4
糸切りボタン (B629のみ)	5
針位置解除ボタン (B629のみ)	5
ランプスイッチ	5
ドロップフィードつまみ	5
針とランプの交換方法	6
針の交換	6
下針の交換 (B629のみ)	6
ランプの交換	6

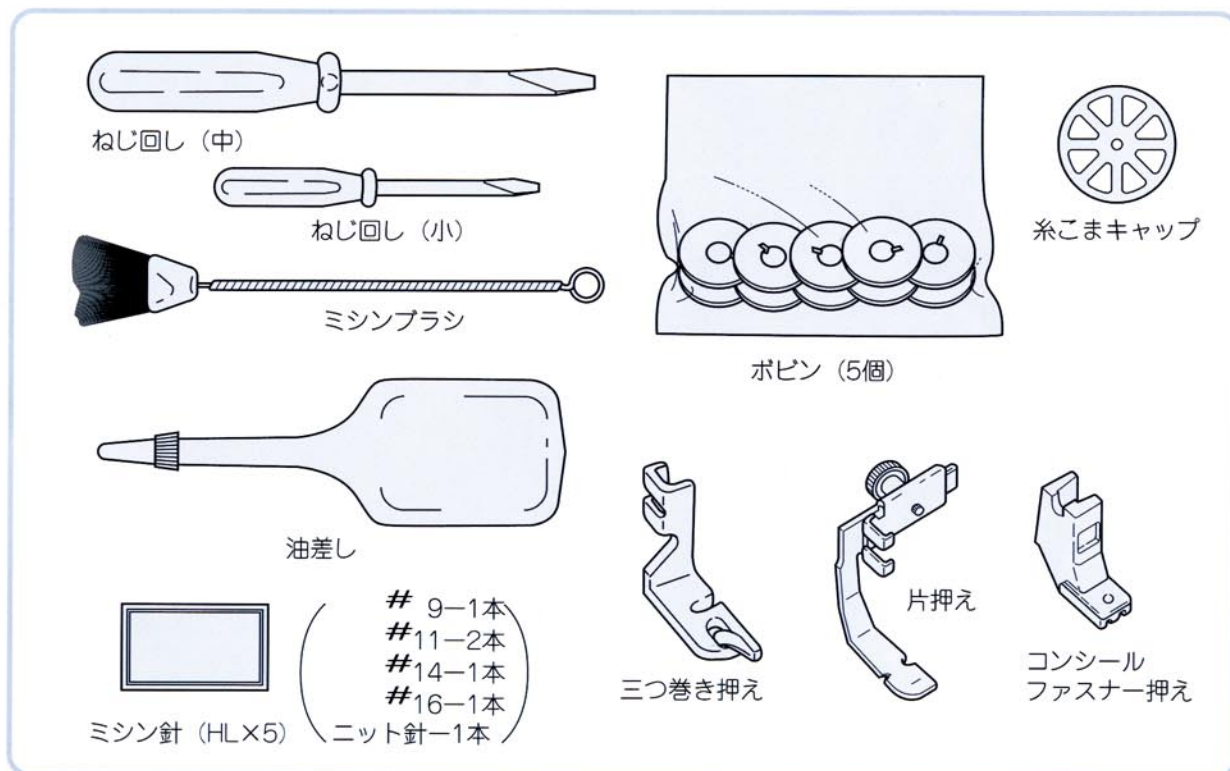
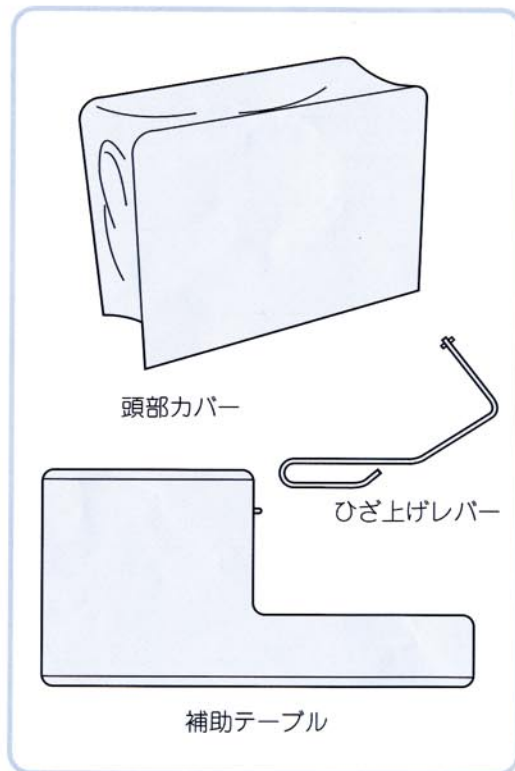
糸の通し方	7
ボビンの下糸巻き	7
下糸のセット	8
上糸のかけ方	9
糸通し装置の使い方 (B629のみ)	9
下糸の引き出し方	10
試しぬい／糸調子	11
試しぬい	11
糸調子	11
押えの取り替え方	12
ぬい方	13
地ぬい	13
下針送り (ぬいずれの起きやすい布地) のぬい方 (B629のみ)	13
下針装置について (B629のみ)	13
三つ巻きぬい	14
片押え	15
コンシール押え	16
裏地つけ (B629のみ)	16
お手入れ	17
トラブルチェック	18

おことわり

機種・仕様によりイラストと異なる部分があります。

付属品

※付属品は必ず本機専用付属品をご使用下さい。



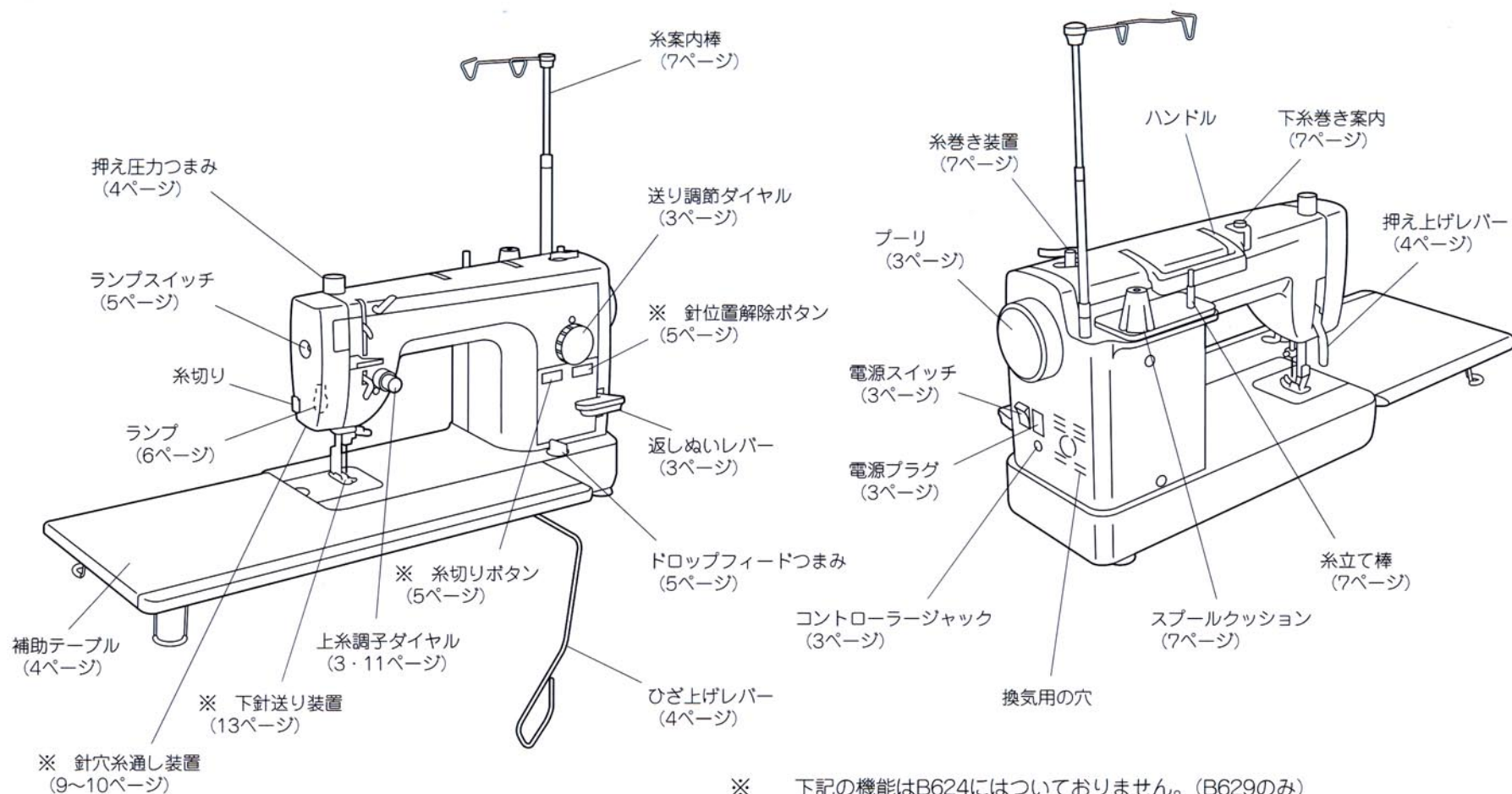
別売品

薄地ぬいがよりきれいに仕上がります。
お近くのプラザショップでお求めください。



B629のみ付属されています。

各部の名称



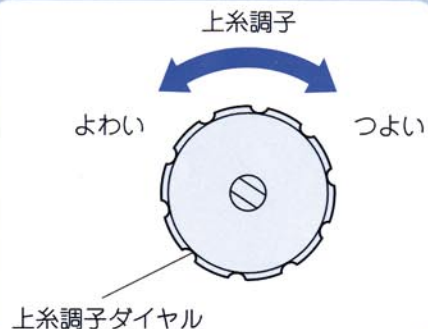
※ 下記の機能はB624にはついておりません。(B629のみ)

- 糸切りボタン・針位置解除ボタン
- 針穴系通し装置
- 下針送り装置

ぬう前の知識 (1)

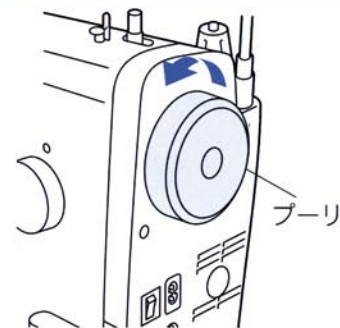
上糸調子ダイヤル

- 上糸を強くしたい場合
上糸調子ダイヤルを右に回します。上糸と下糸の重なりが上(表)にです。
- 上糸を弱くしたい場合
上糸調子ダイヤルを左に回します。上糸と下糸の重なりが下(裏)にです。



プーリ

- プーリを回すと針が上下します。
- ※ プーリは必ず手前側に回してください。

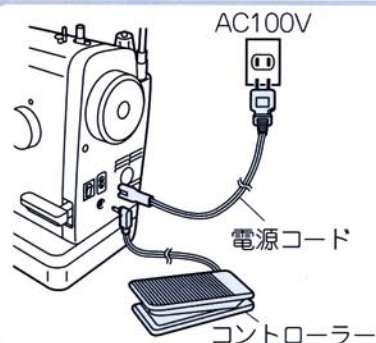


電源コード・コントローラー

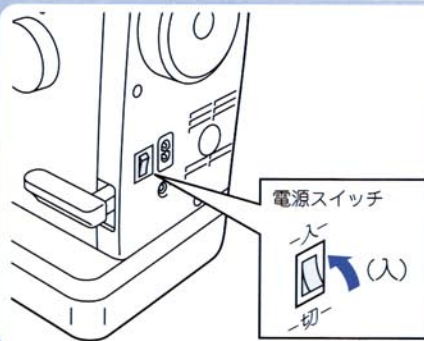
警告

- コンセントは、一般家庭用電源 100 V を使用して下さい。

- 電源コードをミシンとコンセントに接続します。
- コントローラーをミシンに接続します。

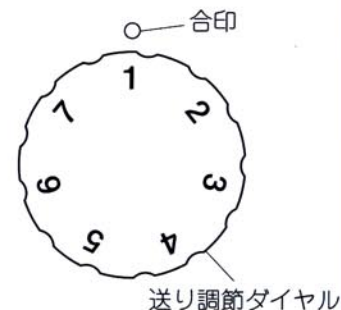


電源スイッチ



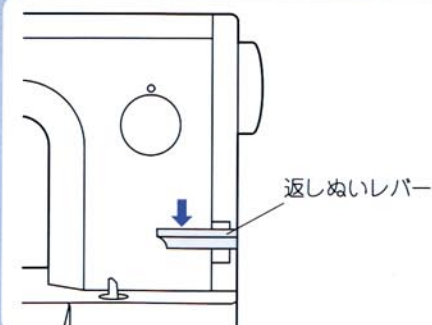
送り調節ダイヤル

- ぬい目の長さを変えられます。



返しぬいレバー

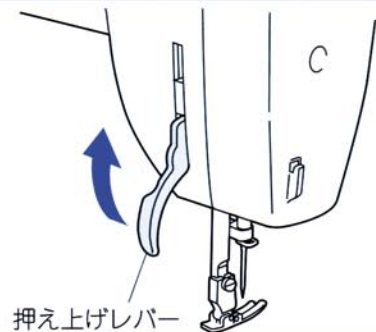
- 下へ押さえている間だけ、返しぬいができます。
- ※ いっぱいに押し下げてください。



押え上げレバー

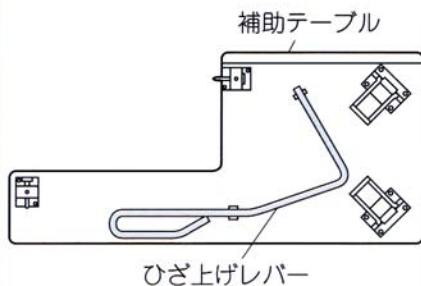
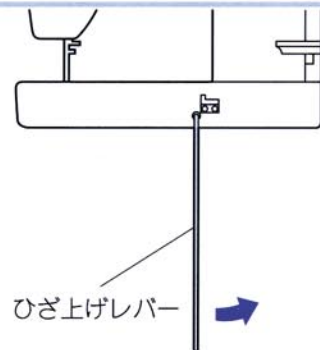
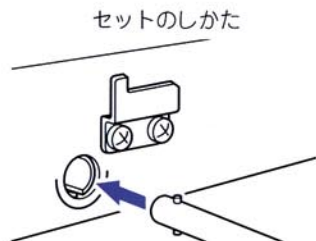
- レバーを下げると押え足が下がり、布地を押さえます。

※ 厚地の重ねぬいなど押え足の下に布地を入れにくいときはさらにレバーを上げて入れます。



ひざ上げレバー

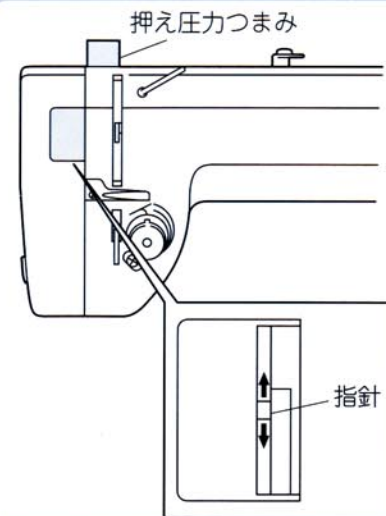
- ぬい始め、ぬい途中に両手を布地から離さなくてもひざ上げレバーを使えばひざで押え足を上げたり下げたりできます。



※ 使用しないときは補助テーブルの裏側に格納しておけます。

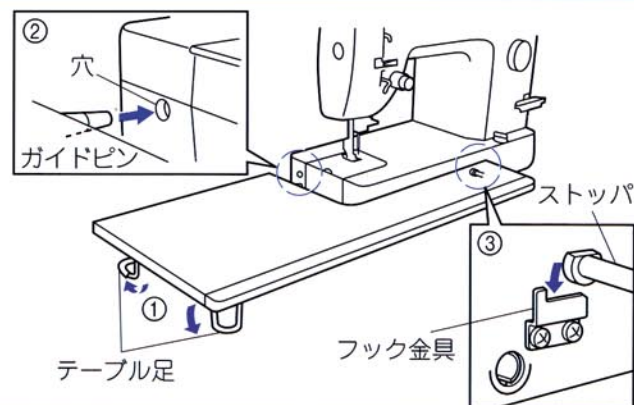
押え圧力つまみ

- 押え圧力つまみを回すと指針が上下します。



補助テーブル

- 補助テーブルのテーブル足を起こしておき、図のようにセットします。



ぬう前の知識 (2)

糸切りボタン(B629のみ)

- ぬい終わりの上糸・下糸を自動で糸切りします。



糸切りボタン

針位置解除ボタン(B629のみ)

- 赤いランプがついているときはぬい終わりでコントローラーを離すとつねに布に針がささった位置で止まります。
- 赤いランプが消えているときはぬい終わりでコントローラーを離すとすぐに止まります。この場合、針の止まる位置は一定ではありません。

赤いランプ

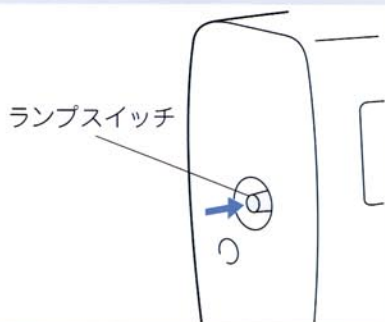


針位置解除ボタン

ランプスイッチ

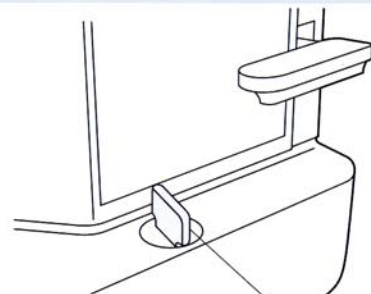
- 押すごとにランプがついたり消えたりします。

ランプスイッチ



ドロップフィードつまみ

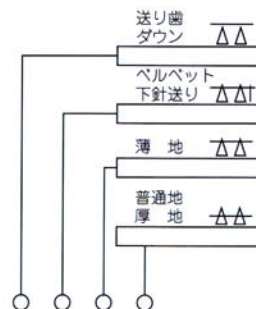
- 布地の厚さに合わせて送り歯の高さを変えることができます。



ドロップフィードつまみ

(B629)

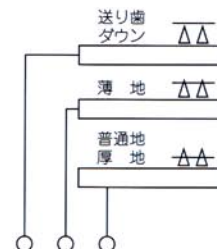
送り歯調節



※ B629は4つのポジションを選べます。

(B624)

送り歯調節



※ B624は3つのポジションを選べます。

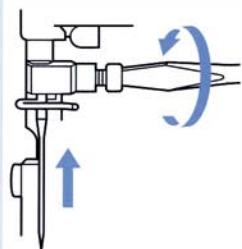
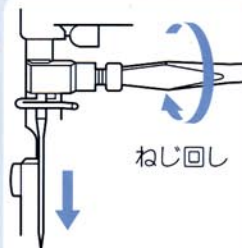
針とランプの交換方法

▲ 注意

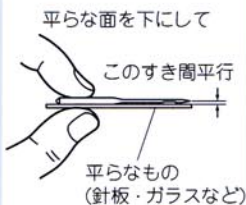
電源を切ってから行ってください。
交換中ミシンがあやまって作動した場合、けがを
するおそれがあります。

針の交換

- ① 電源スイッチを切り、
針が一番上にくるまで
プーリを回し、押え足
を下げます。
- ② ねじをゆるめて針を抜
きます。
- ③ 針の平らな面を右にし
て、いっぱいまで差し
込みねじを締めます。

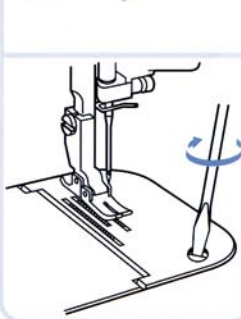
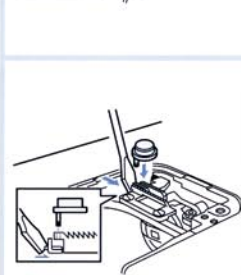
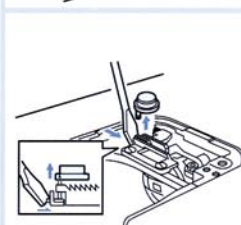
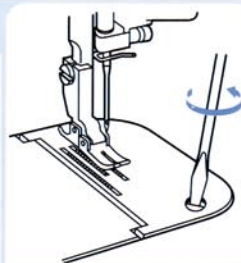


※ 正しい針の調べ方



下針の交換(B629のみ)

- ① 針板をはずします。
- ② 下針交換ゴムを下針に
さします。
- ③ ドライバーで図の様に
押して下針をはずしま
す。
- ④ 新しい下針を交換ゴム
につけます。
- ⑤ ドライバーで図の様に
押しながら下針を差し
込みます。
- ⑥ ドライバーを離し、下
針から交換ゴムを抜き
ます。
- ⑦ 針板をつけます。

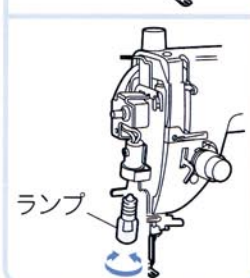
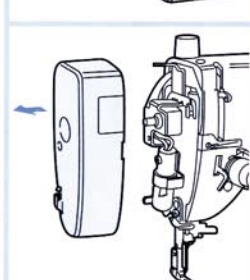
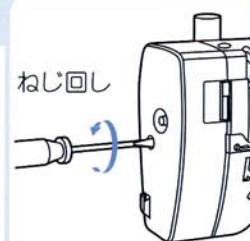


▲ 注意

電源を切ってから行ってください。
ランプが切れた直後は、ランプのガラス部分が熱い
ので時間をおいて、ランプが冷めてから交換をし
てください。

ランプの交換

- ① 電源スイッチを切りま
す。
- ② ねじをはずします。
- ③ 面板をはずします。
- ④ ランプを回して抜き取
ります。
- ⑤ 新しいランプを回して
取り付けます。
- ⑥ 面板を取り付け、ねじ
を締めます。

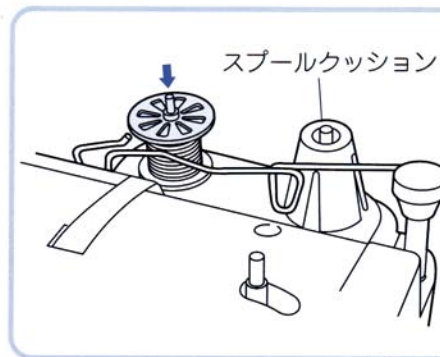
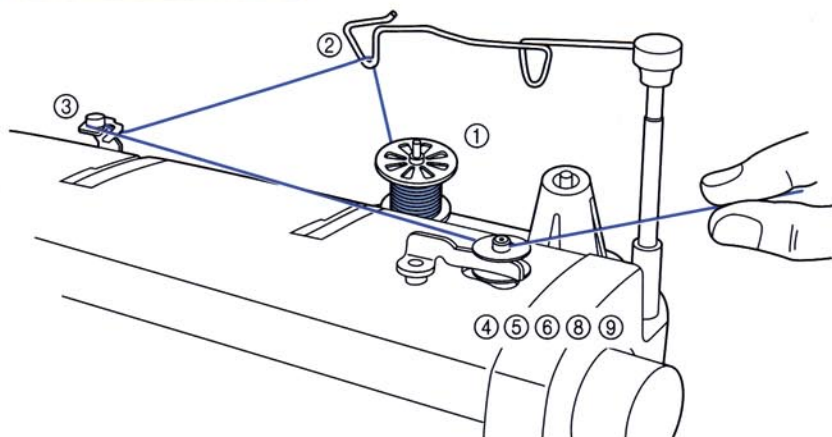


【注記】

HL×5針を使用してください。

糸の通し方 (1)

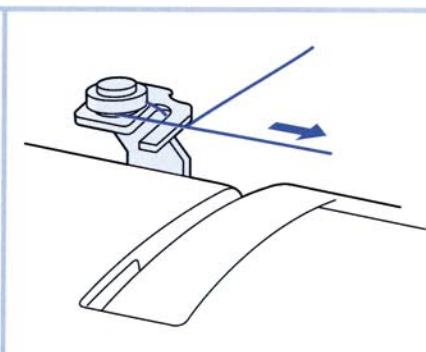
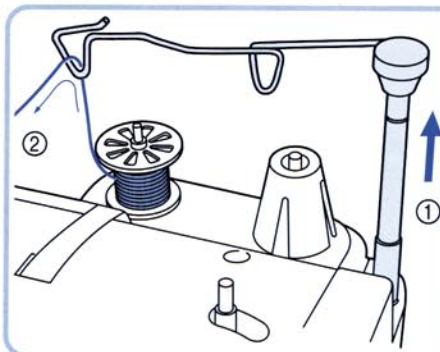
ボビンの下糸巻き



① 糸立棒にこま巻き糸を入れます。

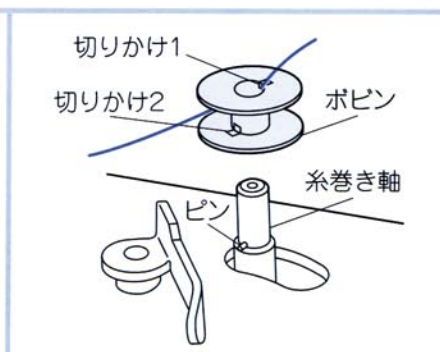
※ チーズ巻き糸の場合は、スプールクッションの方に差し込んでください。

※ こま巻き糸の場合は糸こまキャップを使用してください。



② 糸案内棒をいっぱいのにのばして、三角の穴に糸を通します。

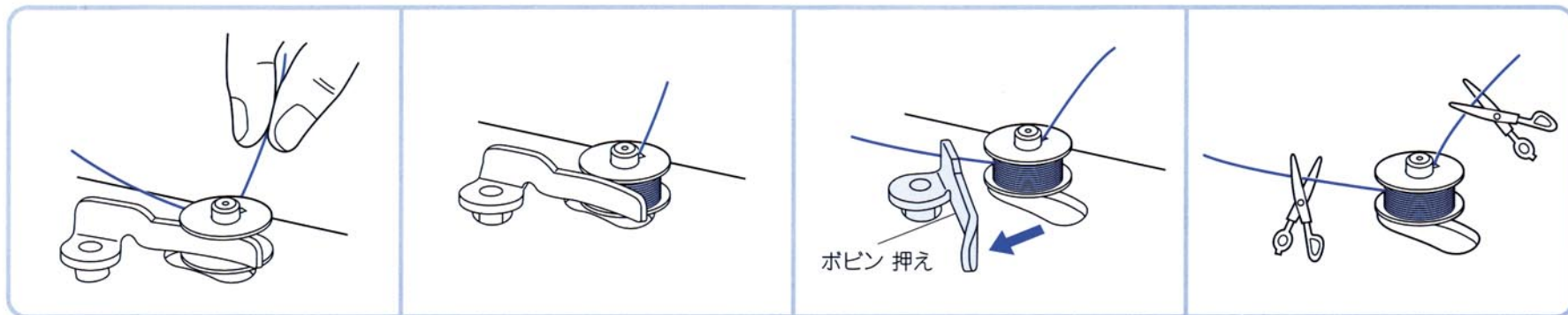
③ 下糸巻き案内に糸をかけます。



④ ボビンの切りかけ1に糸を通し、切りかけ2と糸巻き軸のピンを合わせて入れます。



⑤ ボビン押えをボビンに当たるまで押します。



⑥ 糸端を持ってコントローラーを踏みます。

⑦ 巻き終わるとボビンの回転は止まります。コントローラーを離します。

⑧ ボビン押えを手でもどします。

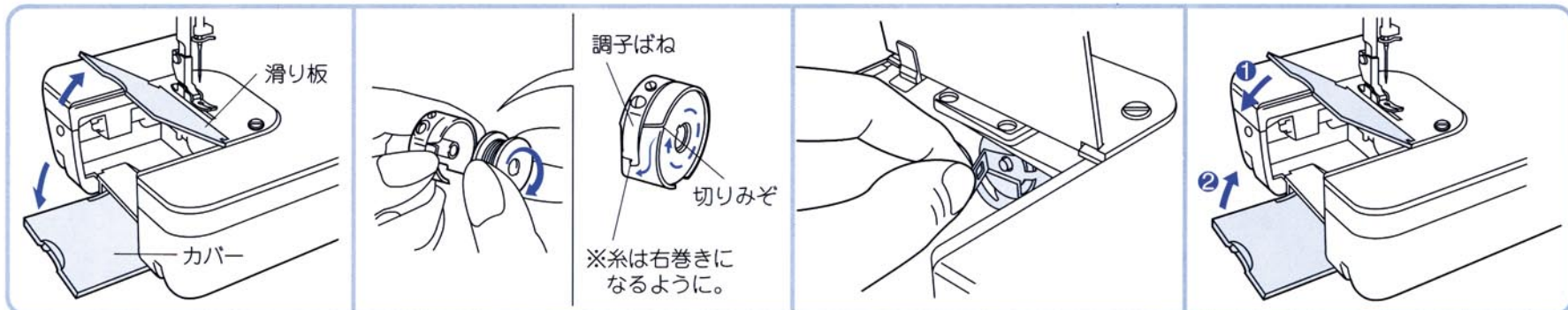
⑨ 糸端を切り、ボビンをはずします。

下糸のセット



注意

下糸を交換するときは、必ず電源を切ってから行ってください。



① 滑り板を上げます。
(カバーが同時に開きます)

② ボビンをボビンケースに入れます。
※ 切りみぞに糸をすべり込ませ調子ばねの下へくぐらせて糸を10cmほど出しておきます。

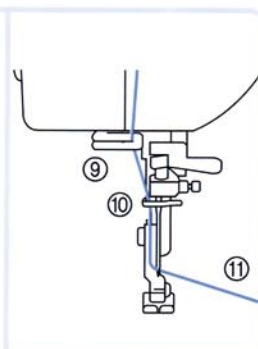
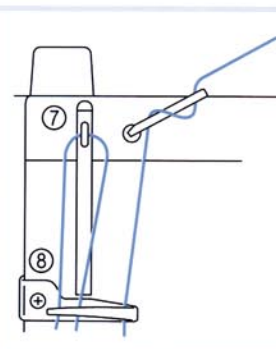
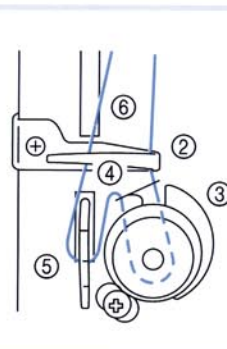
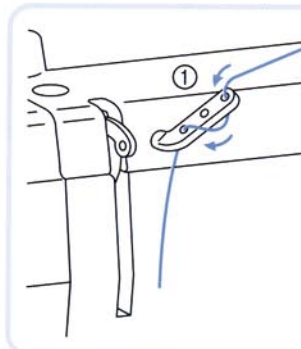
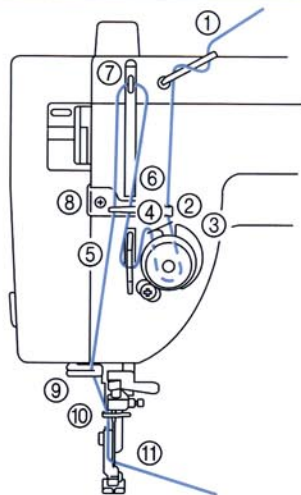
③ つまみをいっぱいに開いてボビンケースを軸に差し込みます。
※ しっかりセットされていないとぬい始めにボビンケースがとびだしたり、上糸が切れます。

④ ①②の順番で滑り板とカバーを閉じます。

糸の通し方 (2)

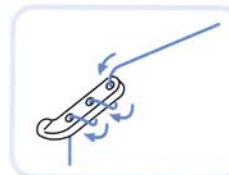
▲注意 電源を必ず切って糸通し装置を使用してください。あやまってコントローラーを踏むとミシンが壊れてケガをするおそれがあります。

上糸のかけ方

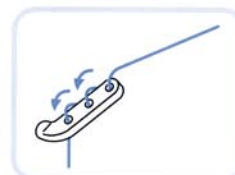


● 天びんを最高の位置にして押えレバーを上げておきます。

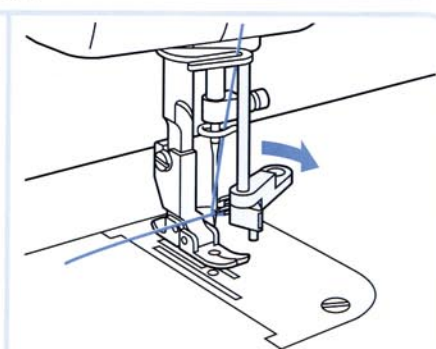
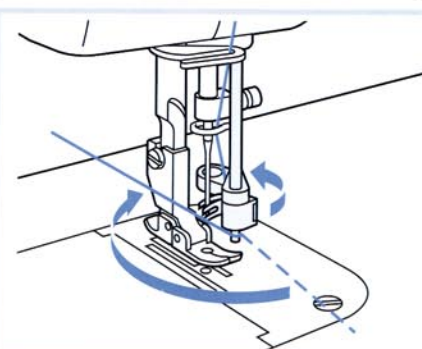
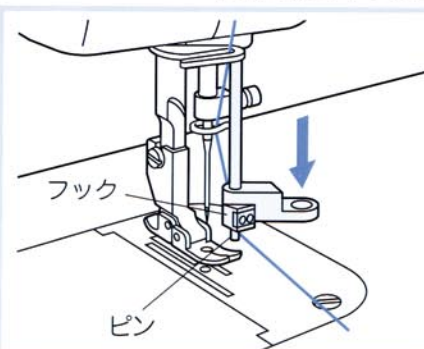
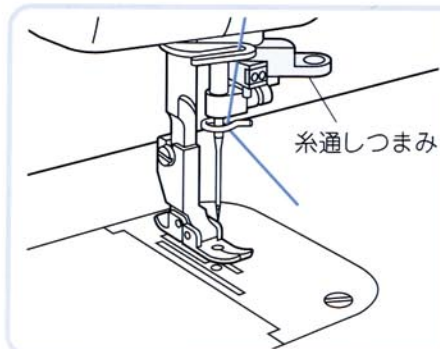
※ 合繊糸等のヨリの強い糸の場合は、三つ目糸掛け①の3つの穴に糸を通して下さい。



※ それでも糸のヨリが出る時は、右図のように糸を通して下さい。



糸通し装置の使い方 (B629のみ)



① プーリを手前に回して、針を一番上にして、押え上げレバーを下げます。

② 糸を左手で前に軽く引きます。

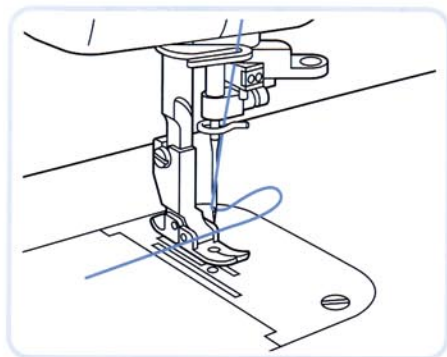
③ 糸通しつまみを下まで下げます。

※ 糸がピンの右側にくる様にしてください。

④ 糸をフックにかけます。

※ 糸を左に引き、フックにかかっているか確かめてください。

⑤ 糸を軽く持ちながらフックを回転させてもどします。

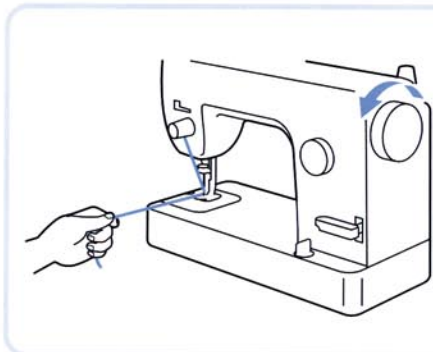


⑥ ループを右へ引き出します。

針	糸
9番	30番 50番 60番
11番	30番
14番	30番
16番	20番

● 糸通し装置が使用できない針と糸の太さの組み合わせは左記のとおりです。なお、ナイロン透明糸は左記に関係なく、ミシン針14～16番の範囲内でご使用ください。

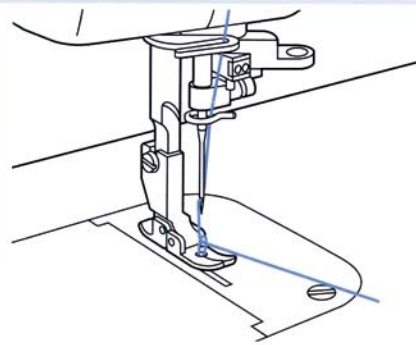
下糸の引き出し方



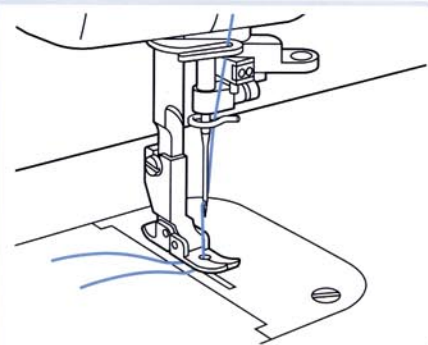
※ 下糸を巻いたボビンをミシンにセットしてから操作してください。

① 上糸を軽く持ち、プーリを手前にゆっくり回して針を上げます。

※ 1回転させてください。



② 上糸を引き上げて下糸を引っ張り出します。



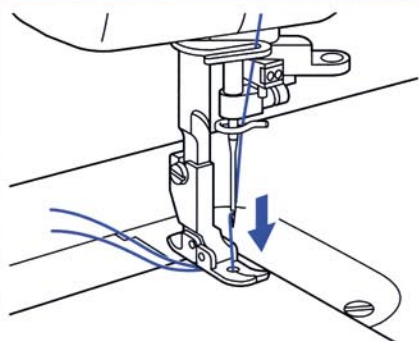
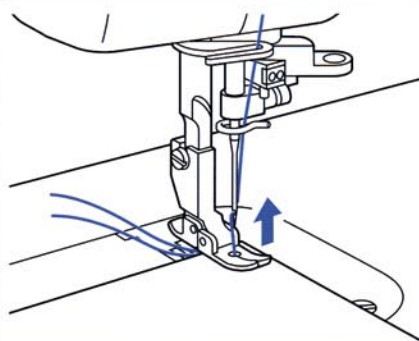
③ 上糸・下糸を15cmほど出しておきます。

※ 押えを上げて糸端を押え足の下に入れておきます。

試しぬい／糸調子

試しぬい

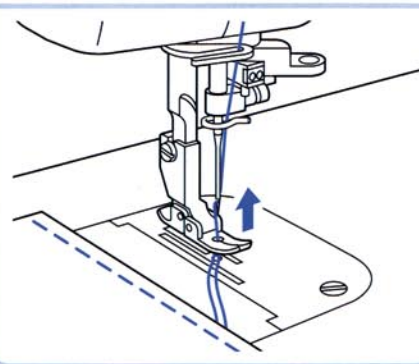
- ① 送り調節ダイヤルをぬいたいぬい目の長さに合わせます。
- ② 上糸と下糸を15cmほど出し、針を上げたまま押えを上げて布地（試しぬい布）を押えの下におきます。
- ③ 押えを下げます。
- ④ 針を布地に刺してコントローラーをゆっくり踏み、スタートします。



- ⑤ 針を最高の位置に上げます。
- ⑥ 押えを上げ、布を引き出して糸を切ります。

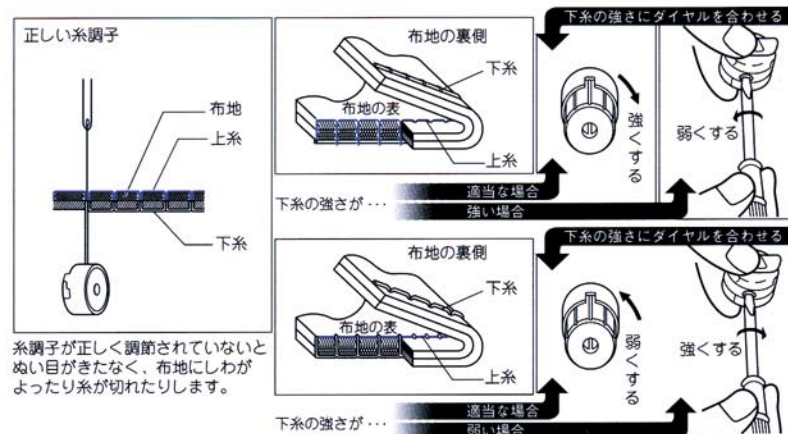
※ 糸切り装置を使用するとき
(B629のみ)

- ⑤ 糸切りボタンを押します。
- ⑥ 押えを上げ、布を引き出します。



糸調子

※ ポビンケースの糸調子は、下糸が引っかかりなくなめらかに出る程度が適当です。下糸に合わせて上糸を調節してください。（下糸が強すぎると布地にしわがよります。）



● 布地・糸・針の関係とミシンの合わせ方

☆ この表はいろいろなぬい方すべてに関係します。

	布地・糸・針の関係		
	布 地	糸	針
ぬいずれの起こりやすい布地ぬい	ベルベット	絹糸、合繊糸 30番～50番	11番～14番
	セシナーキルト	合繊糸 20番～50番	11番～16番
	人エスエード	合繊糸 20番～50番	
	ハイミロンニット	合繊糸 20番～50番	
	ラッセルコーティングローン	合繊糸 50番	11番～14番
薄地ぬい	トリコット	カタン糸 80番	9番
	ジョーゼット (絹)	合繊糸 60番	
	ウール・ジョーゼット	絹糸、合繊糸 50番	
普通ぬい	ギンガム	カタン糸 60番～80番	11番～14番
	薄手ジャージ	合繊糸 60番	11番
	ギャバジン、フラノ	絹糸 50番	
厚地ぬい	デニム	カタン糸 20番～50番	14番～18番
	ジャージ	合繊糸 20番～50番	11番～16番
	ツイード	絹糸 20番～50番	

※ 針はHL×5またはHA×1を使用します。(DB×1は使えません)

※ 押え圧力つまみとドロップフィードつまみは表を見て合わせてください。

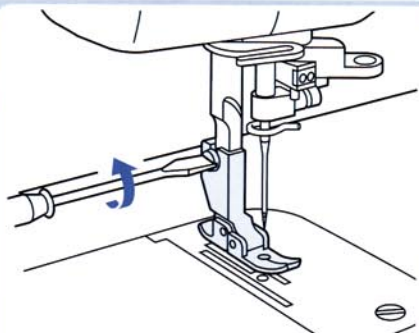
※ トリコット・ジャージ等の伸び縮みの大きい布地でぬい目がとぶときはニット針 (金メッキ) の針をお使いください。

押えの取り替え方

▲ 注意 押えを交換する時は、必ず電源を切ってください。

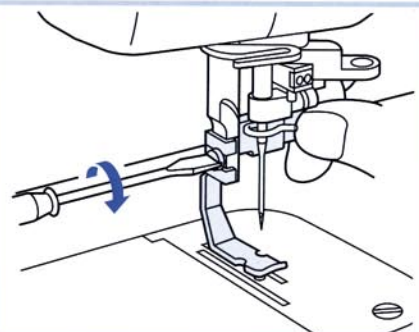
押えの取り替え方 (例 片押え)

- ① 押えを上げて、針を最高位置にします。
- ② ねじをゆるめて押えを取りはずします。



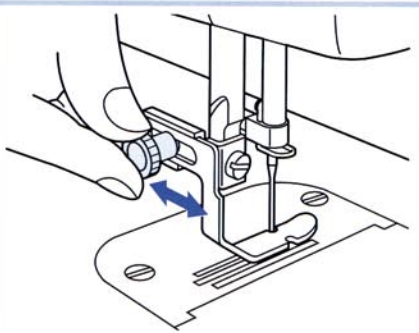
- ③ 片押えを取り付け、ねじを締めます。

※ 三つ巻き押え・コンシール押えも同様に行ってください。



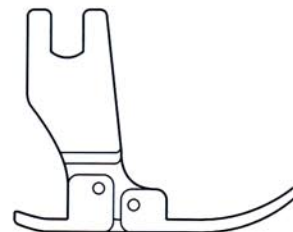
※ 片押えの位置は調節ネジで変えることができます。

※ 三つ巻き押え・コンシール押えは調節はありません。付け替えるだけでぬい始められます。

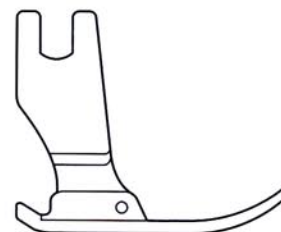


押えについて

- ① 下針送り用押え
ベルベット、レザー・スエード等のぬいずれのおきやすい布地がきれいにぬえます。
 - B 629に付いています。



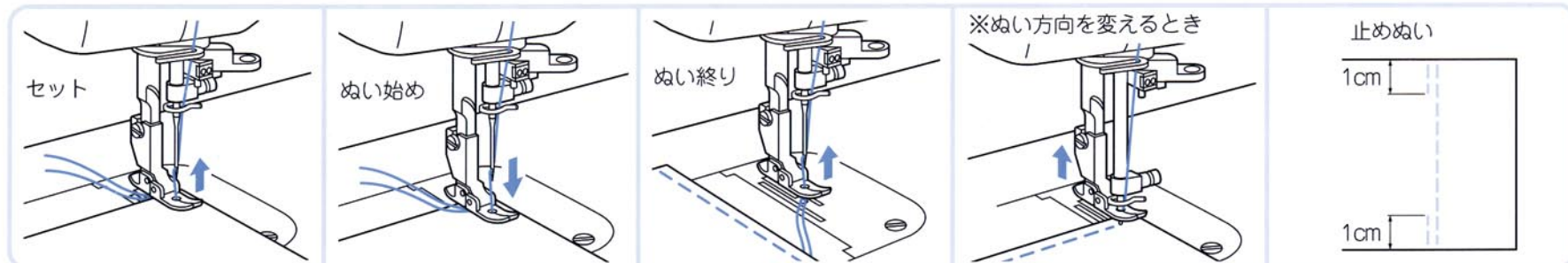
- ② ふつうぬい用押え
ふつうのぬいに使う押えです。
 - B 624に付いています。
 - B 629は付属品の中に入っています



※ 上記押えは、お近くのプラザーショップでお求めになれます。

ぬい方 (1)

地ぬい



① 上糸と下糸を15cmほど出し、押えを上げて布を押えの下におきます。

② 押えを下げます。

③ 針を布地に刺してコントローラーをゆっくり踏みスタートします。

④ 針を最高の位置に上げます。

⑤ 押えを上げ、布地を引き出して糸を切ります。

※ 糸切り装置を使用するとき (B629のみ)

④ 糸切りボタンを押します。
(ミシンが上糸と下糸を切り、針が上で止まります)

⑤ 押えを上げ、布地を引き出します。

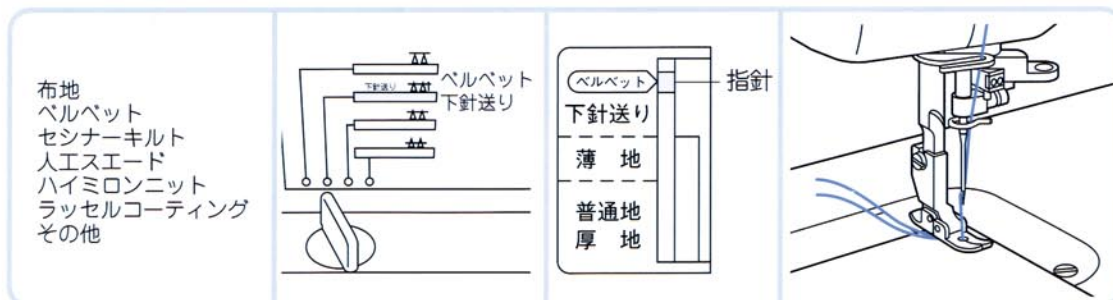
① 針を布地にさしておきます。

② 押えを上げ、針を中心に布地を回します。

③ 押えを下げて、ぬいます。

※ ぬい始め、ぬい終りに約1cmの長さで返しぬいレバーを押下げて、ぬい目の上をぬい返します。

下針送り(ぬいずれの起きやすい布地)のぬい方 (B629のみ)



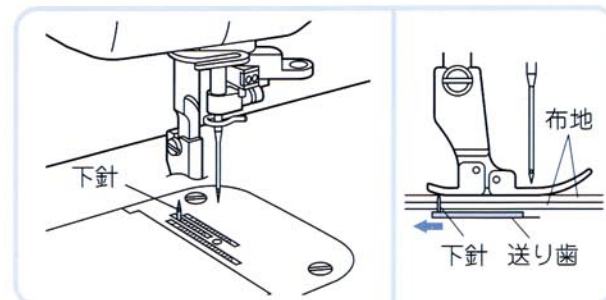
※ 上の布地について下針送り装置を使用するとぬいずれなくきれいにぬえます。

① ドロップフィードつまみを下針送りに合わせます。

② 押え圧力つまみを回して、下針送りの位置に指示を合わせます。

③ 布地が下針に引っかかるまで糸を引っぱりながらぬいます。

下針装置について (B629のみ)



下針が表と裏の布地をさして送るため、ぬいずれしやすい布地でもぬいずれなくきれいにぬい上げます。

※ 押えを上げると、下針は自動的に下がります。

ぬい方 (2)

▲注意 押えを交換する時は、必ず電源を切ってください。

三つ巻きぬい

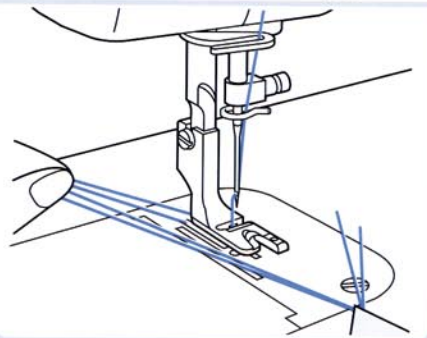
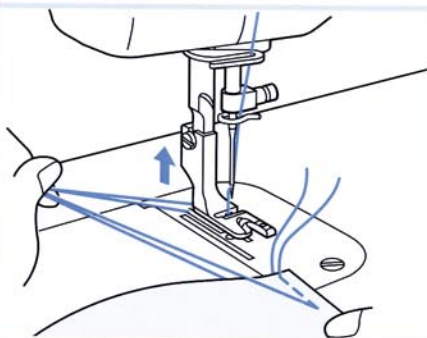
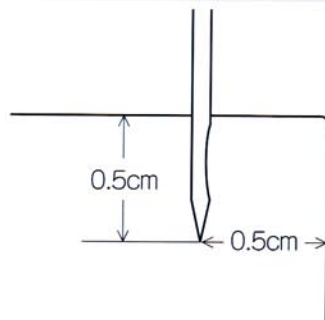
① 三つ巻き押えに付け替えます。

※ 12ページの押えの交換を見てください。

② 布端から約0.5cm入ったところに針をおとし、2針ぬいます。

③ 針を上げ、押えを上げて布地を手前に引きます。

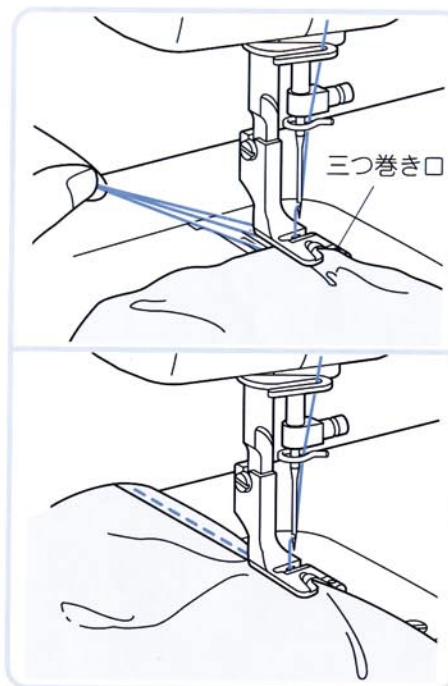
④ 左手で4本の糸を持ちます。



⑤ 右手で布端を持って三つ巻き口に引き糸部分から差し入れ、針おちの向こうまで布地の端を入れます。

⑥ ぬい始めの3~4針は引き糸を向こう側へ引っ張りぎみにすると簡単にぬうことができます。

⑦ 巻き込み幅を0.5cmほどかぶせるようにして布地を持ちます。巻き込み幅を適に加減しながらぬいます。



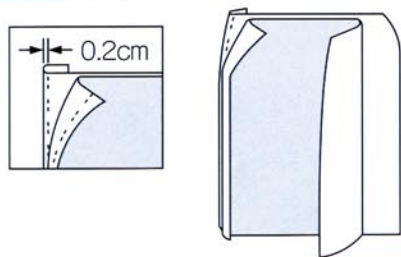
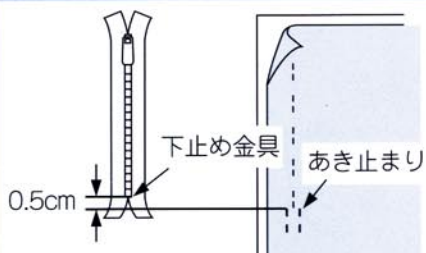
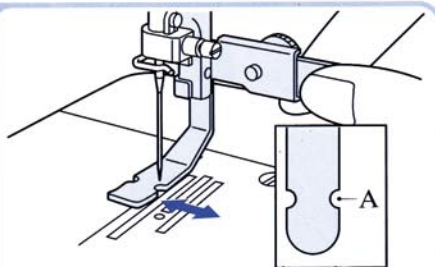
ぬい方 (3)

▲ 注意

押えを交換するときは、必ず電源を切ってください。

片押え

- ① 片押えに付け替えます。
- ② プーリを回して針をおとし、押えの位置を決めます。
- ③ ファスナー付けの部分にファスナーを当てて下止め金具より0.5cm下がった位置にあき止まりのしるしを付けます。
- ④ しるしから0.2cm外側を折って、きわにしるしをつけ、ぬいしろを割ります。



- ⑤ しるしのところをぬい、ファスナーを付けます。

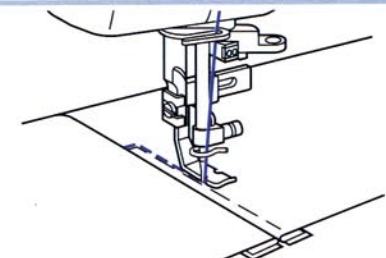
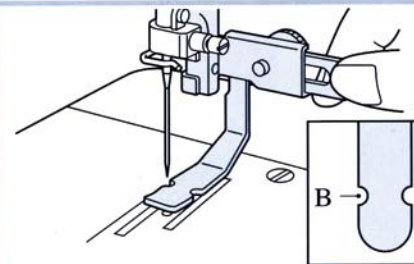
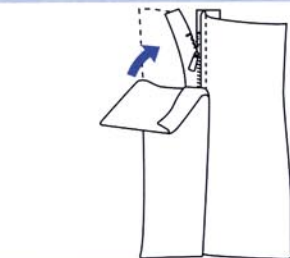
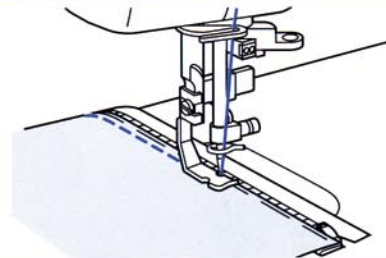
- ⑥ ぬい目と折り山を合わせます。

- ⑦ 押えの位置を変えます。

- ⑧ プーリを回して針をおとし、押えの位置を決めます。

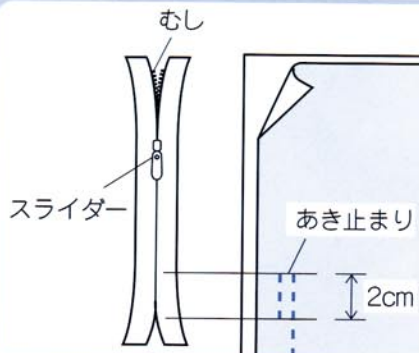
- ⑨ 布地を表にして、しつけをしてからきわをぬいます。

※ あき止まりは2度ぬいしてください。

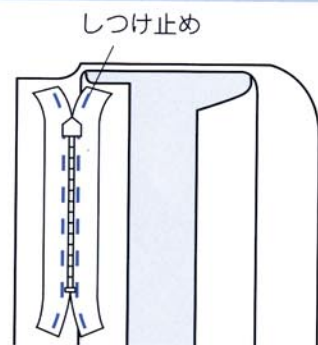


コンシール押え

- ① コンシールファスナー押えに付け替えます。
- ② ファスナー付け部分にファスナーを当て、ファスナーの長さより2~3cm短い位置にあき止まりのしるしをつけます。

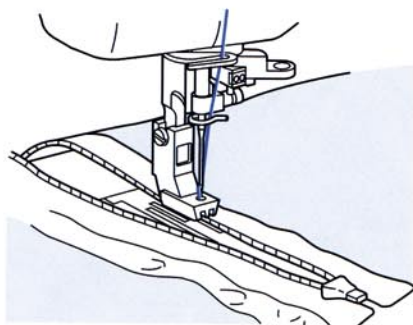


- ③ めいしろを割ります。
- ④ 裏側へファスナーを当て、表布とのつり合いに注意してファスナーを開き、裏側のむしのそばをしつけで止めます。



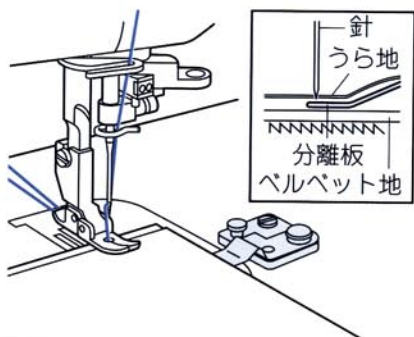
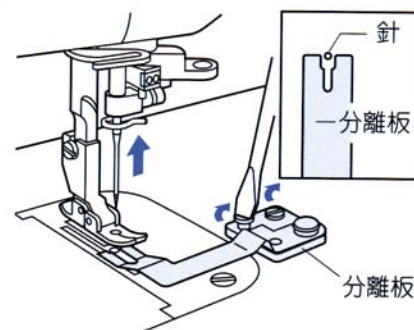
- ⑤ ファスナーの裏側からむしを立ててぬいます。

※ むしの右側をぬうときは押えの左側のみぞと右側のむしを合わせます。

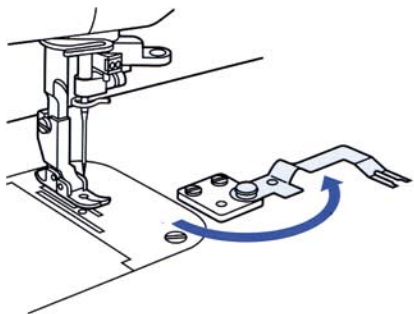


裏地つけ(B629のみ)

- ① 針と押えを上げます。
 - ② 分離板を押えの下に入れます。
 - ③ 針が分離板のみぞの中央になるようにして、針と分離板が当たらないことを確認します。
 - ④ 分離板締めねじ(2本)を締めます。
 - ⑤ 押え圧力とドロップフィードつまみを下針送りに合わせます。
 - ⑥ 布地が下針にかかるまで糸を引っぱりながらぬいます。
- ※ 返しぬいは2~3針にしてください。



- ⑦ 使わないときははずすが、図のように回転させてねじをしめておきます。



お手入れ

▲ 注意

電源を必ず切ってから行ってください。

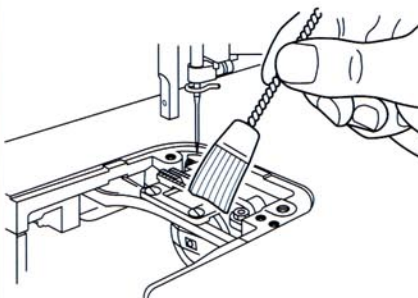
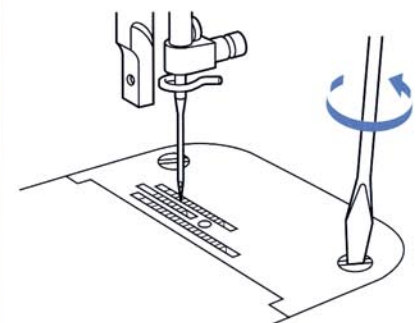
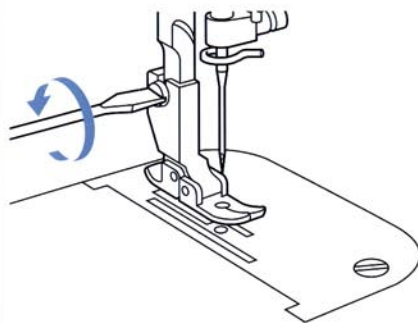
① 電源スイッチを切ります。

② 押えを取りはずします。

③ 針板をはずします。

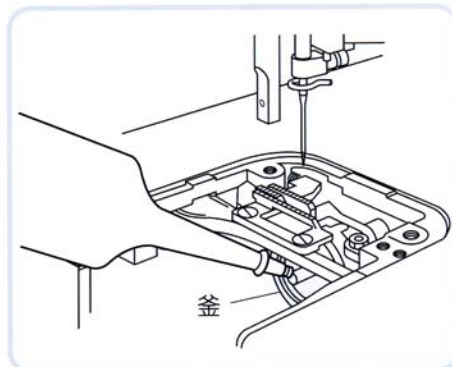
④ ほこりや糸くずを取り除きます。

※ 底にたまった糸くずはカバーの口元からはき出してください。



⑤ きれいになったら釜に注油します。

⑥ 針板、押えを取り付けます。



■ いつもきれいに

かるいよごれは、やわらかい乾いた布でふいてください。ひどいよごれは中性洗剤を溶かした湯または水に浸した布でふき、次に湯または水に浸した布で洗剤をふきとってください。

■ ミシンの大敵

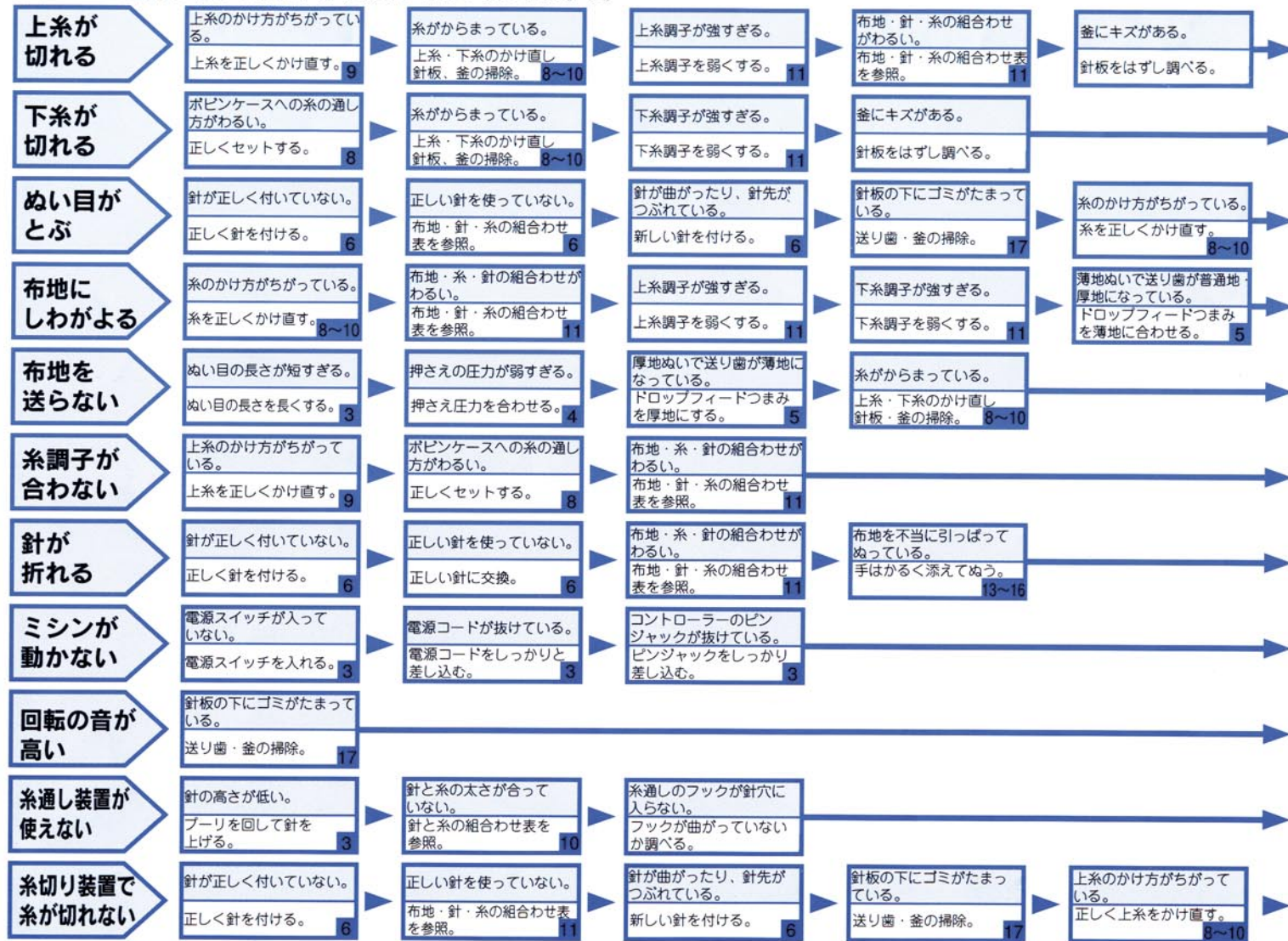
ストーブやアイロンは近づけないでください。ベンジン・シンナーなどは絶対に使わないでください。保管するときは、直射日光をさけてください。



項 目	仕 様	項 目	仕 様
ぬい速度(最高)	毎分 1,500針	送り歯の高さ	0.7mm 1.1mm
ぬい目長さ (ピッチ)	0~7mm	下針の高さ	3mm~3.5mm
針棒の ストローク	34.1mm	使用可能な ミシン針	HL×5#9~#18
天びんの ストローク	61.4mm	ベッドサイズ	439mm×178mm
		ミシン総重量	10kg
		モーター定格	電圧100V 50/60Hz
布押え高さ	押え上げてこ 一段目 6mm	ビルトイン ランプ	電圧100V 12W 50/60Hz
	二段目 9mm	裁縫可能面積	595mm×285mm
	ひざ上げレバー 10mm 以上		

トラブルチェック

※ ミシンの調子が悪いときは、まず次のチェックをしましょう。



● もし、それでも直らないときは、お買い上げの販売店または最寄りの

メモ

■アフターサービス

- お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保存してください。
- 無料修理保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
(詳しくは保証書をご覧ください。)
- それ以後の修理については、お買い上げの販売店、または最寄りのブラザー販売店にご相談ください。
- 当社はこのミシンの補修用性能部品を、製造打ち切り後最低8年保有しています。
・性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- アフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または下記の〈お客様相談コーナー〉へお問い合わせください。

お客様相談コーナー

北海道事業所	〒060 札幌市中央区南三条西3-2-2	TEL:(011)251-0826
東北事業所	〒980 仙台市青葉区一番町2-3-10	TEL:(022)227-8875
東京事業所	〒104 東京都中央区京橋3-3-8	TEL:(03)3273-0231
中部事業所	〒467 名古屋市瑞穂区塩入町11-5	TEL:(052)824-3191
関西事業所	〒542 大阪市中央区南船場3-12-22	TEL:(06) 252-5879
中国事業所	〒730 広島市中区胡町4-28	TEL:(082)240-3761
四国事業所	〒760 高松市寿町1-1-5	TEL:(0878)51-7341
九州事業所	〒812 福岡市博多区博多駅前2-20-1	TEL:(092)431-3775
沖縄事業所	〒900 那覇市泊3-1-2	TEL:(098)868-4511
本社		
お客様相談室	〒467 名古屋市瑞穂区苗代町15-1	TEL:(052)824-3125

◎ブラザー製品についてのご意見、ご要望がございましたら、お買い上げの販売店または上記の〈お客様相談コーナー〉へご連絡ください。

※上記の電話番号および住所は、都合により変更することがありますのでご了承ください。

ブラザー工業株式会社

名古屋市瑞穂区苗代町15-1 〒467

取扱店